



平成26年12月15日

各 位

会社名	虹 技 株 式 会 社
代表者名	代表取締役社長 堀田 一之
(コード	5603 東証第1部)
問合せ先責任者	取締役経理部長 谷岡 宗
(TEL	079-236-3221)

(訂正)「平成25年3月期 第3四半期決算短信[日本基準] (連結)」の一部訂正について

当社は、平成26年12月12日付「第三者委員会の調査報告書受領に関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、過年度決算短信の訂正作業を進めてまいりました。

このたび、平成25年2月1日付「平成25年3月期 第3四半期決算短信」の訂正作業が完了しましたので、訂正内容についてお知らせいたします。

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正前および訂正後の全文をそれぞれ添付し、訂正箇所には_を付して表示しております。

以上

【訂正後】



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,685	△0.3	175	△73.4	193	△68.3	64	△82.4
24年3月期第3四半期	12,720	9.8	659	△27.6	609	△24.9	366	△19.8

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 107百万円 (△70.6%) 24年3月期第3四半期 365百万円 (6.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	1.95	-
24年3月期第3四半期	11.09	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	19,764	8,650	39.6
24年3月期	20,560	8,708	38.8

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 7,828百万円 24年3月期 7,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	4.3	750	△31.5	620	△36.3	360	△35.9	10.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	33,621,637株	24年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	592,453株	24年3月期	591,804株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	33,029,461株	24年3月期3Q	33,029,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気の減速に日中関係悪化にともなう輸出と生産の落ち込みが加わり、内需も弱さをみせるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、「虹技の品質」をスローガンに掲げ、当期を最終年度とする第3次3カ年計画の4つの基本方針である、「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取り組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」に基づく重要課題の達成に向け、全社をあげて取り組んでまいりました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高126億8千5百万円（前年同期比 0.3%減）、営業利益1億7千5百万円（前年同期比 73.4%減）、経常利益1億9千3百万円（前年同期比 68.3%減）、四半期純利益6千4百万円（前年同期比 82.4%減）となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益（△は損失）を、△4億1千6百万円（前年同期 △1億9千9百万円）、同じく四半期純利益には、△2億5千8百万円（前年同期 △1億1千8百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

当事業の売上高は、106億8千1百万円（前年同期比 0.2%増）、経常利益5億9千3百万円（前年同期比 20.9%減）となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

鋳型は、鍛造鋼用鋳型、特殊鋼用鋳型とも低調に推移し、前年同期を下回りました。

自動車用プレス金型鋳物は、国内金型市場の縮小傾向が続くなか、受注確保に努め、前年同期並みとなりました。

大型産業機械用鋳物は、主要顧客先である工作機械業界向け需要の低迷により、前年同期を下回りました。

ロールは、特殊鋼メーカーをはじめとする国内需要減が続きましたが、海外向け大口物件の売上により、前年同期を上回りました。

小型鋳物は、新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋の伸張に加え機械鋳物が好調に推移し、前年同期を上回りました。

デンスバーは、長引く円高と中国向け建設機械や油圧機器向け需要の減少が響き、前年同期を下回りました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車メーカーの新車開発による需要増により引き続き好調に推移しました。

② その他の事業

当事業の売上高は、20億4百万円（前年同期比 2.7%減）、経常利益1億9千6百万円（前年同期比 1.8%減）となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

送風機は、鉄鋼関連を中心とする民間設備投資の低迷により、前年同期を下回りました。

KCメタルファイバーは、自動車販売台数の減少による主要顧客先である摩擦材メーカー向けの需要減が響き、前年同期を下回りました。

環境装置事業は、炉修工事や保守・メンテナンス工事の受注拡大に努め、都市ゴミ焼却炉延命化工事などの大口受注により、前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、120億5千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ1千7百万円増加いたしました。

固定資産は、77億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、197億6千4百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億9千6百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、75億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6千3百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が5億5千6百万円減少したことなどによります。

固定負債は、35億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、111億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、86億5千万円となり、前連結会計年度末に比べ5千7百万円増加いたしました。これは、剰余金の配当による減少と四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の38.8%から39.6%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産（工具の一部（木型・金型）を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が7百万円、四半期純利益が4百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,028	3,069
受取手形及び売掛金	5,791	5,563
有価証券	—	171
商品及び製品	<u>1,094</u>	<u>986</u>
仕掛品	<u>976</u>	<u>1,055</u>
原材料及び貯蔵品	820	<u>811</u>
繰延税金資産	<u>186</u>	<u>199</u>
その他	202	214
貸倒引当金	△66	△20
流動資産合計	<u>12,035</u>	<u>12,052</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,185	1,277
機械装置及び運搬具（純額）	2,093	2,006
土地	795	795
その他（純額）	1,116	936
有形固定資産合計	<u>5,191</u>	<u>5,016</u>
無形固定資産	18	15
投資その他の資産		
投資有価証券	1,256	1,074
前払年金費用	1,924	1,476
その他	137	131
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	<u>3,315</u>	<u>2,680</u>
固定資産合計	<u>8,525</u>	<u>7,712</u>
資産合計	<u>20,560</u>	<u>19,764</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,610	3,054
短期借入金	2,415	2,830
未払法人税等	271	72
賞与引当金	112	83
その他	1,924	1,529
流動負債合計	8,334	7,571
固定負債		
社債	150	120
長期借入金	2,673	2,923
繰延税金負債	459	269
未払役員退職慰労金	63	63
退職給付引当金	67	76
環境対策引当金	101	87
その他	4	3
固定負債合計	3,517	3,542
負債合計	11,852	11,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	<u>5,315</u>	<u>5,214</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,838</u>	<u>7,737</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	174
繰延ヘッジ損益	△19	△19
為替換算調整勘定	△55	△63
その他の包括利益累計額合計	138	91
新株予約権	5	5
少数株主持分	725	816
純資産合計	<u>8,708</u>	<u>8,650</u>
負債純資産合計	<u>20,560</u>	<u>19,764</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	12,720	12,685
売上原価	<u>10,636</u>	<u>11,020</u>
売上総利益	<u>2,083</u>	<u>1,665</u>
販売費及び一般管理費	1,424	1,489
営業利益	<u>659</u>	<u>175</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	19
貸倒引当金戻入額	4	45
受取保険金	—	32
その他	39	58
営業外収益合計	<u>63</u>	<u>156</u>
営業外費用		
支払利息	82	76
支払補償費	—	33
その他	32	29
営業外費用合計	<u>114</u>	<u>139</u>
経常利益	<u>609</u>	<u>193</u>
特別損失		
減損損失	—	21
特別損失合計	<u>—</u>	<u>21</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>609</u>	<u>172</u>
法人税、住民税及び事業税	294	190
法人税等調整額	<u>△116</u>	<u>△181</u>
法人税等合計	<u>177</u>	<u>9</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>431</u>	<u>162</u>
少数株主利益	64	98
四半期純利益	<u>366</u>	<u>64</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>431</u>	<u>162</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△39
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△29	△15
その他の包括利益合計	<u>△65</u>	<u>△54</u>
四半期包括利益	<u>365</u>	<u>107</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>315</u>	<u>16</u>
少数株主に係る四半期包括利益	50	90

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント利益	<u>750</u>	200	<u>950</u>	<u>△341</u>	<u>609</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△3億4千1百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億7千3百万円、営業外収益が6千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△3千2百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△1億9千9百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,681	2,004	12,685	—	12,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	6	△6	—
計	10,681	2,010	12,691	△6	12,685
セグメント利益	<u>593</u>	196	<u>790</u>	<u>△597</u>	<u>193</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△5億9千7百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△2億2千8百万円、営業外収益が7千8百万円、営業外費用が△2千9百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△4億1千6百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「鋳物関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては21百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

【訂正前】



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月1日

上場取引所 大

上場会社名 虹技株式会社

コード番号 5603 URL <http://www.kogi.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀田 一之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷岡 宗 TEL 079-236-3221

四半期報告書提出予定日 平成25年2月12日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,685	△0.3	326	△57.1	344	△51.6	157	△63.0
24年3月期第3四半期	12,720	9.8	762	△16.1	711	△11.9	426	△6.2

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 201百万円 (△52.8%) 24年3月期第3四半期 426百万円 (24.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	4.78	-
24年3月期第3四半期	12.92	-

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円		百万円		%
25年3月期第3四半期	19,979		8,866		40.3
24年3月期	20,682		8,830		39.2

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 8,043百万円 24年3月期 8,098百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭				
24年3月期	-	0.00	-	5.00	5.00
25年3月期	-	0.00	-	-	-
25年3月期(予想)	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,300	4.3	750	△31.5	620	△36.3	360	△35.9	10.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社 （社名） 、除外 ー社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	33,621,637株	24年3月期	33,621,637株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	592,453株	24年3月期	591,804株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	33,029,461株	24年3月期3Q	33,029,042株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な景気の減速に日中関係悪化にともなう輸出と生産の落ち込みが加わり、内需も弱さをみせるなど、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況のもとで当社グループは、「虹技の品質」をスローガンに掲げ、当期を最終年度とする第3次3カ年計画の4つの基本方針である、「品質 ナンバーワンをめざす」、「技術開発への取り組みの強化」、「教育の充実」、「財務体質の更なる強化」に基づく重要課題の達成に向け、全社をあげて取り組んでまいりました。

このような結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高126億8千5百万円（前年同期比 0.3%減）、営業利益3億2千6百万円（前年同期比 57.1%減）、経常利益3億4千4百万円（前年同期比 51.6%減）、四半期純利益1億5千7百万円（前年同期比 63.0%減）となりました。

なお、上記の経常利益には、退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益（△は損失）を、△4億8百万円（前年同期 △1億9千7百万円）、同じく四半期純利益には、△2億5千3百万円（前年同期 △1億1千7百万円）を含んでおります。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 鋳物関連事業

当事業の売上高は、106億8千1百万円（前年同期比 0.2%増）、経常利益7億3千6百万円（前年同期比 13.4%減）となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

鋳型は、鍛造鋼用鋳型、特殊鋼用鋳型とも低調に推移し、前年同期を下回りました。

自動車用プレス金型鋳物は、国内金型市場の縮小傾向が続くなか、受注確保に努め、前年同期並みとなりました。

大型産業機械用鋳物は、主要顧客先である工作機械業界向け需要の低迷により、前年同期を下回りました。

ロールは、特殊鋼メーカーをはじめとする国内需要減が続きましたが、海外向け大口物件の売上により、前年同期を上回りました。

小型鋳物は、新型人孔鉄蓋や次世代型高品位鉄蓋の伸張に加え機械鋳物が好調に推移し、前年同期を上回りました。

デンスバーは、長引く円高と中国向け建設機械や油圧機器向け需要の減少が響き、前年同期を下回りました。

また、中国国内で自動車用プレス金型鋳物の生産・販売を手がける天津虹岡鋳鋼有限公司は、現地自動車メーカーの新車開発による需要増により引き続き好調に推移しました。

② その他の事業

当事業の売上高は、20億4百万円（前年同期比 2.7%減）、経常利益1億9千6百万円（前年同期比 1.8%減）となりました。

主要製品の売上の状況は、以下のとおりです。

送風機は、鉄鋼関連を中心とする民間設備投資の低迷により、前年同期を下回りました。

KCメタルファイバーは、自動車販売台数の減少による主要顧客先である摩擦材メーカー向けの需要減が響き、前年同期を下回りました。

環境装置事業は、炉修工事や保守・メンテナンス工事の受注拡大に努め、都市ゴミ焼却炉延命化工事などの大口受注により、前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、122億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億1千万円増加いたしました。これは、主として商品及び製品が2億2千7百万円増加したことなどによります。

固定資産は、77億1千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ8億1千3百万円減少いたしました。

この結果、総資産は、199億7千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億2百万円減少いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、75億7千1百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億6千3百万円減少いたしました。これは、主として支払手形及び買掛金が5億5千6百万円減少したことなどによります。

固定負債は、35億4千2百万円となり、前連結会計年度末に比べ2千4百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は、111億1千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億3千8百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、88億6千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3千5百万円増加いたしました。これは、剰余金の配当による減少と四半期純利益により利益剰余金が増加したことなどによります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の39.2%から40.3%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、平成24年5月11日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産（工具の一部（木型・金型）を除く）については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて当第3四半期連結累計期間の売上総利益、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益が7百万円、四半期純利益が4百万円それぞれ増加しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,028	3,069
受取手形及び売掛金	5,791	5,563
有価証券	—	171
商品及び製品	<u>1,201</u>	<u>1,429</u>
仕掛品	<u>1,075</u>	<u>965</u>
原材料及び貯蔵品	820	<u>816</u>
繰延税金資産	<u>102</u>	<u>57</u>
その他	202	214
貸倒引当金	△66	△20
流動資産合計	<u>12,156</u>	<u>12,267</u>
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,185	1,277
機械装置及び運搬具（純額）	2,093	2,006
土地	795	795
その他（純額）	1,116	936
有形固定資産合計	<u>5,191</u>	<u>5,016</u>
無形固定資産	18	15
投資その他の資産		
投資有価証券	1,256	1,074
前払年金費用	1,924	1,476
その他	137	131
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	<u>3,315</u>	<u>2,680</u>
固定資産合計	<u>8,525</u>	<u>7,712</u>
資産合計	<u>20,682</u>	<u>19,979</u>

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,610	3,054
短期借入金	2,415	2,830
未払法人税等	271	72
賞与引当金	112	83
その他	1,924	1,529
流動負債合計	8,334	7,571
固定負債		
社債	150	120
長期借入金	2,673	2,923
繰延税金負債	459	269
未払役員退職慰労金	63	63
退職給付引当金	67	76
環境対策引当金	101	87
その他	4	3
固定負債合計	3,517	3,542
負債合計	11,852	11,113
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,002	2,002
資本剰余金	587	587
利益剰余金	<u>5,437</u>	<u>5,429</u>
自己株式	△67	△67
株主資本合計	<u>7,959</u>	<u>7,952</u>
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213	174
繰延ヘッジ損益	△19	△19
為替換算調整勘定	△55	△63
その他の包括利益累計額合計	138	91
新株予約権	5	5
少数株主持分	725	816
純資産合計	<u>8,830</u>	<u>8,866</u>
負債純資産合計	<u>20,682</u>	<u>19,979</u>

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	12,720	12,685
売上原価	<u>10,533</u>	<u>10,869</u>
売上総利益	<u>2,186</u>	<u>1,816</u>
販売費及び一般管理費	1,424	1,489
営業利益	<u>762</u>	<u>326</u>
営業外収益		
受取利息及び配当金	19	19
貸倒引当金戻入額	4	45
受取保険金	—	32
その他	39	58
営業外収益合計	<u>63</u>	<u>156</u>
営業外費用		
支払利息	82	76
支払補償費	—	33
その他	32	29
営業外費用合計	<u>114</u>	<u>139</u>
経常利益	<u>711</u>	<u>344</u>
特別損失		
減損損失	—	21
特別損失合計	<u>—</u>	<u>21</u>
税金等調整前四半期純利益	<u>711</u>	<u>323</u>
法人税、住民税及び事業税	294	190
法人税等調整額	<u>△74</u>	<u>△123</u>
法人税等合計	<u>220</u>	<u>67</u>
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>491</u>	<u>256</u>
少数株主利益	64	98
四半期純利益	<u>426</u>	<u>157</u>

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	<u>491</u>	<u>256</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△36	△39
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△29	△15
その他の包括利益合計	<u>△65</u>	<u>△54</u>
四半期包括利益	<u>426</u>	<u>201</u>
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	<u>376</u>	<u>110</u>
少数株主に係る四半期包括利益	50	90

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等
(セグメント情報)

I. 前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)
1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,660	2,059	12,720	—	12,720
セグメント利益	<u>851</u>	200	<u>1,051</u>	<u>△339</u>	<u>711</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△3億3千9百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△1億7千3百万円、営業外収益が6千3百万円、支払利息を除いた営業外費用が△3千2百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△1億9千7百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II. 当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	鋳物関連事業 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	調整額 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円)
売上高					
外部顧客への売上高	10,681	2,004	12,685	—	12,685
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	6	6	△6	—
計	10,681	2,010	12,691	△6	12,685
セグメント利益	<u>736</u>	196	<u>933</u>	<u>△589</u>	<u>344</u>

(注) 1. セグメント利益の調整額△5億8千9百万円には、報告セグメント及びその他に帰属しない本社管理部門にかかる費用が△2億2千8百万円、営業外収益が7千8百万円、営業外費用が△2千9百万円及び退職給付会計の数理計算上の差異の償却に係る信託株式の時価変動による損益(△は損失)が△4億8百万円含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「鋳物関連事業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては21百万円であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。